

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公表番号】特表2017-501801(P2017-501801A)

【公表日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-541261(P2016-541261)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/315 (2006.01)

A 6 1 M 5/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/315 5 0 0

A 6 1 M 5/20

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月8日(2017.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬物送達デバイス(1)用アセンブリであって、

- 該アセンブリの用量送達動作をトリガするように、送達方向へと軸方向に動くように適用され、配置された起動部材(6A)と、

- 該アセンブリの用量送達動作中、互いに機械的に協働し、かつ用量送達動作中、互いに回転するように適用され、配置された第1の相互作用部材(17)、および第2の相互作用部材(18)と

を含み、ここで、該アセンブリは、起動部材(6A)が送達方向に動くことによって、相互作用部材(17、18)が機械的に接触して相互作用部材(17、18)間で摩擦が生じるように構成され、ここで、摩擦の量によって、用量送達動作中の相互作用部材(17、18)の相対回転速度を制御する、前記薬物送達デバイス用アセンブリ。

【請求項 2】

起動部材(6A)は、使用者によって送達方向に押されるように構成され、アセンブリは、起動部材(6A)にかかる圧力の量によって、相互作用部材(17、18)間で生じる摩擦の量が決まるように構成される、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

摩擦の量は、起動部材(6A)の軸方向の位置に依存する、請求項1または2に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

起動部材(6A)は、第1の位置から第2の位置へと送達方向に第1の距離(d1)だけ動くように適用され、配置され、ここで、起動部材(6A)が第1の距離(d1)だけ動く場合、相互作用部材(17、18)は機械的に協働することはない、請求項1～3のいずれか1項に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

起動部材(6A)は、第2の位置から第3の位置へと送達方向に第2の距離(d2)だけ動くように適用され、配置され、ここで、起動部材(6A)が第2の距離(d2)だけ動く場合、相互作用部材(17、18)は互いに機械的に協働することになる、請求項4

に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

起動部材（ 6 A ）が第 2 の位置から第 3 の位置の方へと動く場合、相互作用部材（ 1 7 、 1 8 ）間の摩擦の量が増大するように構成される、請求項 5 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

相互作用部材（ 1 7 、 1 8 ）は、アセンブリの用量設定動作中、機械的に協働することはない、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

アセンブリの用量設定中、かつ用量送達動作中、回転するように適用され、配置された駆動部材（ 1 5 ）をさらに含み、ここで、第 1 の相互作用部材（ 1 7 ）は、駆動部材（ 1 5 ）に連結され、または駆動部材（ 1 5 ）と一体に形成される、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

起動部材（ 6 A ）が送達方向へと軸方向に動くことによって、駆動部材（ 1 5 ）を送達方向へと軸方向に動かすように構成される、請求項 8 に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

アセンブリの用量設定動作中、回転するように適用され、配置された用量設定部材（ 6 ）をさらに含み、ここで、該用量設定部材（ 6 ）は、用量送達動作中、回転方向の動きが防止され、ここで、第 2 の相互作用部材（ 1 8 ）は、用量設定部材（ 6 ）に連結され、または用量設定部材（ 6 ）と一体に形成される、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 11】

- デバイスから薬物（ 1 0 ）の用量を投薬するために送達方向に動くように適用され、配置されたピストンロッド（ 1 2 ）と、
- エネルギーを蓄積し、かつピストンロッド（ 1 2 ）を送達方向に動かすように適用され、配置されたエネルギー蓄積部材（ 1 6 ）と

をさらに含み、ここで、相互作用部材（ 1 7 、 1 8 ）間で生じる摩擦の量によって、用量送達動作中にピストンロッド（ 1 2 ）が動く速度を制御する、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 12】

起動部材（ 6 A ）が第 1 の位置から第 2 の位置の方へと動くことによって、エネルギー蓄積部材（ 1 6 ）に蓄積されたエネルギーが解放されてピストンロッド（ 1 2 ）を送達方向に動かすように構成される、請求項 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 13】

ロッキング部材（ 2 1 ）、およびハウジング（ 5 ）をさらに含み、ここで、アセンブリの用量設定動作中、ロッキング部材（ 2 1 ）のハウジング（ 5 ）に対する動きは、ハウジング（ 5 ）との機械的協働のため防止され、ここで、アセンブリは、起動部材（ 6 A ）が第 1 の位置から第 2 の位置へと動くことによって、ロッキング部材（ 2 1 ）とハウジング（ 5 ）とが係合解除され、したがってロッキング部材（ 2 1 ）がハウジング（ 5 ）に対して回転可能となり、それによってエネルギー蓄積部材（ 1 6 ）に蓄積されたエネルギーが解放されるように構成される、請求項 11 または 12 に記載のアセンブリ。

【請求項 14】

第 1 の相互作用部材（ 1 7 ）は、少なくとも 1 つのウェッジを含む、請求項 1 ～ 13 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 15】

請求項 1 ～ 14 のいずれか 1 項に記載のアセンブリを含む薬物送達デバイス（ 1 ）であって、

複数の用量の薬物（ 1 0 ）を保持するためのカートリッジ（ 3 ）をさらに含む、前記薬物送達デバイス。